

平成30年 5月13日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 加藤 啓子 様

議会報告会 2班
班長 西尾 段
根本 守
森田 洋一
小田桐 仙
大塚 洋一
戸辺 滋
野田 宏規

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成30年5月13日（日）
午後2時～午後4時
- 2 場所 生涯学習センター（流山エルズ）A103
- 3 欠席議員 なし
- 4 来場者数 市民来場者 13人
議員・職員 3人
- 5 報告内容
 - ・教育に関する予算および施策について
 - ・福祉に関する予算および施策について

6 意見交換内容

①市民「今の流山は一昔前の新松戸のよう。江東区などはマンション規制を行っていて、正解だと思う」

➡議員「気持ちはわかるが、流山は区画整理を行っている。空き家対策などをしっかりしたい」

②市民「大規模校の問題は前からわかっていたことだが、何もできなかったことはマイナスなこと。」

➡議員「元々は、2つの小学校と1つの中学校を作るはずだったのだが、井崎市政で変更した経緯がある」

③市民「教員の研修費は予算付けされているのか。新設校のデザインは決まっているのか」

➡議員「研修費は予算に入っている。新設校は木造の校舎」

④市民「小中一貫校はどう捉えられているのか。南流山の幼小中の整備はどういう経緯で変わったのか」

➡「おおたかの森は小中併設校であり、一貫校はない。南流山の用地は変更した経緯がある」

⑤市民「アメリカの司書のステータスが高い。新設校は市長の判断だが、教育委員会のせいになっているように感じる」

➡議員「ご意見として承る」

⑥市民「民間学童を経営しているが、公設では不安だから、民間が良いとのお話を聞く」

➡議員「しっかりと調査研究していきたい」

⑦市民「小児医療が増大しているが、予約制になっている。不要な医療費抑制とはどういうことか」

➡議員「小児医療は重要。医療費抑制とは安価で同じサービスを行うことや健康にすること」

⑧市民「道徳教育をどう思うか。障害者への福祉の拡充を」

➡議員「ご意見として承る」

⑨市民「公立と私立の保育所の給料の違いはどうなっているのか。物流施設などの民間企業の保育所義務付け制度はできないのか。老人のための施設についても色々な制度を」

➡議員「私立公立ではボーナスなどが違う。保育所の整備は要項で定められている。」

⑩市民「もっと職員の研修を」

➡議員「職員研修に係る経緯費が計上されているが、それ以前の問題で、良い対応を求めている」

⑪市民「やはり学童がいっぱいだし、子どもの居場所を考えてほしい。こども食堂について市からのアプローチが欲しい。図書について、積極的な予算付けをお願いしたい」

➡議員「こどもの居場所は大事。現状では、市外の団体から寄付をもらうことも多い」

⑫市民「アンケートで『母になるなら、流山市。』に裏切られたという方が多いが、これを議会で止められないか」

➡議員「予算の修正決議はできる」

⑬市民「子ども食堂を履き違えている方が多い。貧困者だけすべき」

➡議員「いじめの原因にもなりえる」

⑭市民「難病見舞金についてどう考えているのか」

➡議員「しっかりと調査研究していきたい」

7 参加者から議会への要望

「6」のとおり、多くの意見が出されたが、委員会として持ち帰るべき要望は特にはない。

8 所感

雨のため、参加人数がどれほど集まるかと危ぶまれたが、2桁に上る市民の方に来場いただいた。委員が和気あいあいとした進行に努め、会場からも活発に意見がなされた。今期の教育福祉委員会にふさわしい、よい会であったと考える。

◆ 会場の様子

